

情報通信審議会 情報通信技術分科会（第194回）議事概要

1 日時 令和8年4月2日（木）16:30～17:04

2 場所 Web 会議による開催

3 出席者

（1）委員（敬称略）

高田 潤一（分科会長）、長谷山 美紀（分科会長代理）、石井 夏生利、
伊丹 誠、井上 由里子、今井 朝子、大柴 小枝子、國領 二郎、
高橋 利枝、丹 康雄、藤井 威生、増田 悦子（以上12名）

（2）専門委員（敬称略）

三次 仁（以上1名）

（3）総務省

＜国際戦略局＞

布施田 英生（国際戦略局長）、寺岡 秀礼（技術政策課長）

＜総合通信基盤局＞

湯本 博信（総合通信基盤局長）

・電波部

金子 裕介（電波政策課企画官）、五十嵐 大和（移動通信課長）、
向井 ちほみ（電波環境課長）、松宮 志麻（同課電波利用環境専門官）

（4）事務局

金子 創（情報流通行政局情報通信政策課総合通信管理室長）

4 議 題

（1）答申案件

「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「433MHz帯タイヤ空気圧モニタ及びリモートキーレスエントリーに係る技術的条件（改訂版）」について

【平成14年9月30日付け諮問第2009号】

【内容】

433MHz帯を使用するタイヤ空気圧モニタリングシステム及びリモートキーレスエントリーの技術的条件について、自動車の流通におけるグローバ

ル化の進展に対応するため、追加的な検討について審議を行ったもの。

審議の結果、陸上無線通信委員会から報告があったとおり、一部答申（案）を了承し、一部答申とすることとした。

（２）議決案件

「社会環境の変化に対応した電波有効利用の推進の在り方」のうち「周波数割当の在り方」（900MHz帯を使用する新たな無線利用）及び「無線局の免許制度等の在り方」（無線設備の認証制度の在り方）について

【令和７年２月３日付け諮問第30号】

【内容】

900MHz 帯の活用方策及び無線設備の認証分野における課題等について、電波有効利用委員会において検討を行い取りまとめた報告書について審議したもの。

審議の結果、当該報告を「社会環境の変化に対応した電波有効利用の推進の在り方」のうち「周波数割当の在り方」（900MHz 帯を使用する新たな無線利用）及び「無線局の免許制度等の在り方」（無線設備の認証制度の在り方）一部答申（案）として了承し、次回の情報通信審議会総会に提案することとした。

本会議にて配付された資料を御覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますので御覧下さい。

また、総務省において、閲覧に供し及び貸し出しておりますので、以下まで御連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信審議会事務局 坪内補佐、岡本補佐、東出係長、
齊藤官

電 話：０３－５２５３－５４３２

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策のため、送信時は/●/を@に置き換えてください。